

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月28日

上場会社名 ステラ ケミファ株式会社
 コード番号 4109 URL <http://www.stella-chemifa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 深田 純子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 秋山 昌広
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東大
 TEL 06-4707-1512

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	21,838		1,563		1,469		995	
20年3月期第3四半期	18,618	14.5	2,237	9.4	2,206	8.5	1,356	4.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	80.96	
20年3月期第3四半期	110.32	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第3四半期	38,866		16,250		40.6		1,284.49	
20年3月期	35,581		16,044		43.8		1,267.38	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 15,799百万円 20年3月期 15,588百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期		14.00		19.00	33.00
21年3月期		14.00			
21年3月期(予想)				19.00	33.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,656	8.5	1,809	35.9	1,787	34.4	1,141	35.1	92.77

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 社(社名)) 除外 社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 [(注) 詳細は、2ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 会計基準等の改正に伴う変更 有
 以外の変更 無
 [(注) 詳細は、2ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	12,300,000株	20年3月期	12,300,000株
期末自己株式数	21年3月期第3四半期	143株	20年3月期	120株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	12,299,903株	20年3月期第3四半期	12,299,880株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成20年4月25日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提のもとで、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用に当たっては、2ページ[定性的情報・財務諸表等]「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安が国内経済にも波及し、円高・株安などが企業業績を圧迫するとともに雇用環境が悪化するなど、景気の減速感を一層強める状況となりました。

このような環境のもと、当社グループは、国内外の情報通信産業を中心に顧客ニーズにもとづいた多種多様なフッ化物製品の供給を行うとともに、特殊貨物輸送で培った独自のノウハウによる化学品の物流を担う事業展開を行ってきました。

当第3四半期連結累計期間の高純度薬品事業におきましては、フロン・表面処理部門、半導体・液晶部門および電池部門などの売上高が増加しました。その結果、連結売上高は218億38百万円（前年同期比17.3%増）となりました。一方、損益面におきましては、原材料の高騰および研究開発費の増加などにより、連結営業利益は15億63百万円（同30.1%減）、連結経常利益は14億69百万円（同33.4%減）、連結四半期純利益は9億95百万円（同26.6%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は388億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億84百万円増加しました。流動資産は154億52百万円となり、48億82百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金が36億51百万円の増加、たな卸資産が10億74百万円の増加等です。固定資産は234億13百万円となり、15億98百万円減少しました。主な要因は、有形固定資産が12億98百万円減少したことなどによるものです。

負債は226億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億78百万円増加しました。流動負債は133億82百万円となり、9億1百万円増加しました。主な要因は、短期借入金と1年以内に返済予定の長期借入金が11億72百万円増加したことなどによるものです。固定負債は92億32百万円となり、21億76百万円増加しました。主な要因は、長期借入金が21億6百万円増加したことなどによるものです。

純資産は162億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億6百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金が5億89百万円の増加、評価・換算差額等が3億79百万円の減少によるものです。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の43.8%から40.6%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第3四半期末の現金及び現金同等物は、51億30百万円となり前連結会計年度末に比べ36億51百万円増加しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費が21億1百万円等により、24億33百万円の収入になりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出22億7百万円等により、17億76百万円の支出になりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の収入（純額）による29億62百万円等により、31億9百万円の収入になりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては概ね計画通りに推移しているため、平成20年4月25日公表の業績予想に変更はありません。

(連結業績予想)

売上高	27,656百万円	(前期比 8.5%増)
営業利益	1,809百万円	(前期比35.9%減)
経常利益	1,787百万円	(前期比34.4%減)
当期純利益	1,141百万円	(前期比35.1%減)

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。
2. 通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっていましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことにもない、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下にもとづく簿価の切り下げの方法）により算定しています。
これにより、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益は、それぞれ19百万円減少しています。
3. 当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号）を適用しています。
これによる損益に与える影響はありません。

5 . 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位 : 百万円)

	当第 3 四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,130	1,479
受取手形及び売掛金	6,744	6,663
商品及び製品	1,331	864
仕掛品	753	536
原材料及び貯蔵品	1,001	609
繰延税金資産	101	100
その他	401	328
貸倒引当金	11	12
流動資産合計	15,452	10,570
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	7,280	7,729
機械装置及び運搬具 (純額)	5,717	6,368
土地	5,432	5,531
その他 (純額)	2,623	2,722
有形固定資産合計	21,053	22,352
無形固定資産		
その他	89	118
無形固定資産合計	89	118
投資その他の資産		
その他	2,271	2,541
貸倒引当金	1	0
投資その他の資産合計	2,270	2,540
固定資産合計	23,413	25,011
資産合計	38,866	35,581
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,377	1,948
短期借入金	6,131	5,746
1年内返済予定の長期借入金	2,941	2,154
未払法人税等	185	386
賞与引当金	79	128
その他	1,667	2,115
流動負債合計	13,382	12,480
固定負債		
長期借入金	8,138	6,031
退職給付引当金	734	665
役員退職慰労引当金	339	337
その他	20	21
固定負債合計	9,232	7,056
負債合計	22,615	19,536

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,180	3,180
資本剰余金	3,288	3,288
利益剰余金	9,757	9,167
自己株式	0	0
株主資本合計	16,225	15,635
評価・換算差額等		
其他有価証券評価差額金	312	142
為替換算調整勘定	114	95
評価・換算差額等合計	426	47
少数株主持分	451	456
純資産合計	16,250	16,044
負債純資産合計	38,866	35,581

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	21,838
売上原価	17,769
売上総利益	4,069
販売費及び一般管理費	2,505
営業利益	1,563
営業外収益	
持分法による投資利益	89
雑収入	132
営業外収益合計	222
営業外費用	
支払利息	183
為替差損	123
雑損失	9
営業外費用合計	315
経常利益	1,469
特別利益	
固定資産売却益	220
その他	0
特別利益合計	220
特別損失	
固定資産廃棄損	47
投資有価証券評価損	18
その他	2
特別損失合計	69
税金等調整前四半期純利益	1,620
法人税等	615
少数株主利益	8
四半期純利益	995

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益	1,620
減価償却費	2,101
貸倒引当金の増減額(は減少)	0
賞与引当金の増減額(は減少)	49
退職給付引当金の増減額(は減少)	69
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	2
受取利息及び受取配当金	27
支払利息	183
為替差損益(は益)	110
持分法による投資損益(は益)	89
投資有価証券売却損益(は益)	1
投資有価証券評価損益(は益)	18
有形固定資産廃棄損及び売却損益(は益)	170
売上債権の増減額(は増加)	120
たな卸資産の増減額(は増加)	1,092
仕入債務の増減額(は減少)	445
その他の流動資産の増減額(は増加)	89
その他の流動負債の増減額(は減少)	68
未収消費税等の増減額(は増加)	0
未払消費税等の増減額(は減少)	91
その他	456
小計	3,345
利息及び配当金の受取額	46
利息の支払額	149
法人税等の支払額	809
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,433

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	2,207
有形固定資産の売却による収入	370
投資有価証券の取得による支出	1
投資有価証券の売却による収入	18
その他の支出	32
その他の収入	77
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,776

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（は減少）	548
長期借入れによる収入	5,293
長期借入金の返済による支出	2,331
自己株式の処分による収入	0
自己株式の取得による支出	0
配当金の支払額	401
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,109
現金及び現金同等物に係る換算差額	115
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	3,651
現金及び現金同等物の期首残高	1,479
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,130

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	高純度 薬品事業 (百万円)	運輸 事業 (百万円)	メディカル 事業 (百万円)	コス メ ティ ック 事 業 (百万円)	その 他 事 業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	18,335	3,340	—	35	126	21,838	—	21,838
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1	2,211	—	—	128	2,341	(2,341)	—
計	18,337	5,551	—	35	255	24,179	(2,341)	21,838
営業利益又は 営業損失(△)	1,685	365	△264	△236	11	1,562	1	1,563

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア諸国 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	20,828	1,009	21,838	—	21,838
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	760	5,943	6,703	(6,703)	—
計	21,588	6,952	28,541	(6,703)	21,838
営業利益	1,351	197	1,548	14	1,563

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	アジア諸国	北米	欧州諸国	その他の地域	計
I. 海外売上高(百万円)	6,919	569	505	11	8,006
II. 連結売上高(百万円)					21,838
III. 海外売上高の連結売上高に 占める割合(%)	31.7	2.6	2.3	0.1	36.7

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金額 (百万円)
I 売上高	18,618
II 売上原価	14,326
売上総利益	4,292
III 販売費及び一般管理費	2,055
営業利益	2,237
IV 営業外収益	271
受取配当金	36
持分法による投資利益	83
負ののれんの償却額	41
雑収入	111
V 営業外費用	302
支払利息	192
為替差損	102
雑損失	8
経常利益	2,206
VI 特別利益	76
固定資産売却益	6
投資有価証券売却益	50
その他	20
VII 特別損失	25
固定資産廃棄損	15
その他	9
税金等調整前四半期純利益	2,257
税金費用	863
少数株主利益	37
四半期純利益	1,356